

## 外観が美しく食味良好なブドウ新品種「シャインマスカット」

[要約] ブドウ新品種「シャインマスカット」は、果皮色が黄緑色の外観の優れたブドウで、マスカット香があり肉質が硬く、食味も良好である。花振るい性、裂果性は少なく、栽培しやすい。また、ジベレリン処理により種なしにすることができる。

農業総合センター園芸研究所

成果区分

指 導

### 1. 背景・ねらい

本県のブドウ経営は、観光直売型で営まれ、「巨峰」が主力品種となっているが、消費者ニーズが多様化し、「巨峰」とは異なる食味の品種や、食べやすさから種なしブドウに対する需要も大きくなってきている。

そこで、農業・生物系特定技術研究機構果樹研究所において育成されたブドウ新品種「シャインマスカット」の特性について検討した。

### 2. 成果の内容・特徴

- 1) 新品種「シャインマスカット」は、農業・生物系特定技術研究機構果樹研究所ブドウ・カキ研究部において「安芸津 21 号」(「スチューベン」×「マスカット・オブ・アレキサンドリア」)に「白南」(「カッタクルガン」×「甲斐路」)を交雑して育成された(図 1)。
- 2) 1999 年より「ブドウ安芸津 23 号」の系統名でブドウ第 9 回系統適応性検定試験で供試し、雨よけ栽培において、H 型短梢せん定で開花前に新梢への摘心を房先 5 枚で行い、品種特性を調査した。
- 3) 樹勢は強く、収穫期は、「巨峰」よりやや遅い。果皮は黄緑色(図 2)で、裂果性は小さく、マスカット香があり肉質は硬く、食味が良好である(表 1)。
- 4) 満開期と満開 10 日後の 2 回、ジベレリン 25ppm を果(花)房浸漬し、果実品質に及ぼす影響を調査した。ジベレリン処理のみではわずかに種子が残るが、開花前のストレプトマイシン 200ppm 散布により、種なしにすることができる。1 粒重は有核では「巨峰」より小さいが、ジベレリン処理により「巨峰」並みの大きさになり(表 1)、2 回目のジベレリン処理は満開 10 日後より満開 20 日後の方が果粒を肥大させることができる(表 2)。

### 3. 成果の活用面・留意点

- 1) 耐病性は「巨峰」と比べ黒痘病に弱いとされているが、「巨峰」との同時防除で特に目立った病害はなかった。
- 2) 有核栽培の場合、実止まりを良くするために満開期に整房を行う。
- 3) 種なしとする場合は樹勢を強めにする。
- 4) 「シャインマスカット」に対するジベレリン処理については、2004 年 1 月現在、農薬登録されていない(2004 年末、登録見込み)。

#### 4. 具体的データ

図2. 「シャインマスカット」(GA処理)

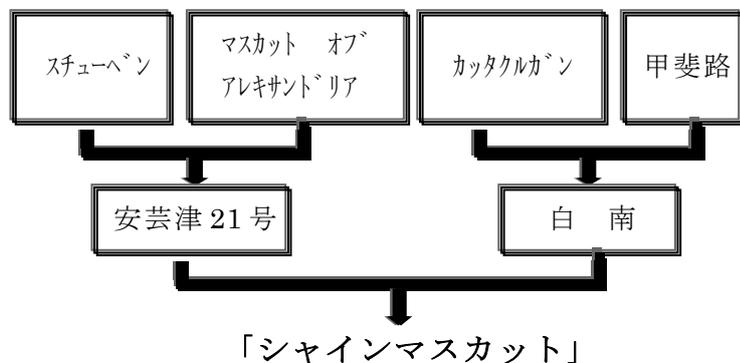


図1. 「シャインマスカット」の育成経過

表1. 品種特性比較 (対照品種: 巨峰)

調査年	品種	樹齢 (年生)	発芽期 (月. 日)	開花期 (月. 日)	収穫期 (月. 日)	ジベレリン 処理	果房重 (g)	1粒重 (g)	含核数	無核粒率 (%)	縮果症 粒率(%)	裂果 粒率(%)	糖度 (brix%)	酸度 (%)
2001	シャイン マスカット	4	4.22	6.03	9.26	— 処理	356 310	10.4 9.0	1.5 0.2	— 84.0	0.0 0.0	4.2 1.1	18.3 18.3	0.44 0.36
	巨峰	4	4.20	5.27	9.19	—	305	11.7	1.3	—	0.0	0.7	19.0	0.47
2002	シャイン マスカット	5	4.20	6.08	10.4	— 処理	366 713	9.3 12.9	1.7 1.5	— —	0.0 12.4	0.5 3.5	16.0 17.2	0.51 0.30
	巨峰	5	4.19	6.10	9.30	—	361	11.8	1.3	—	0.0	0.0	17.6	0.42
2003	シャイン マスカット	6	4.23	6.13	10.4	— 処理	429 694	10.2 13.7	1.5 0.0	— 97.9	5.8 18.9	0.1 0.3	17.3 17.6	0.38 0.28
	巨峰	6	4.25	6.13	9.26	—	345	12.3	1.5	—	1.3	5.3	19.6	0.39

注) ジベレリン処理は、2001年：満開期と満開10日後にGA25ppm花(果)房浸漬  
2002年：満開10日後にGA25ppm花(果)房浸漬  
2003年：満開15日前にストロブトマイシン200ppm散布、満開期と満開10日後にGA25ppm花(果)房浸漬

表2. 2回目のジベレリン処理時期が「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響

処理区	果房重 (g)	1粒重 (g)	含核数	無核粒率 (%)	縮果症 粒率(%)	裂果 粒率(%)	糖度 (brix%)	酸度 (%)
満開10日後処理	694	13.7	0.0	97.9	18.9	0.3	17.6	0.28
満開20日後処理	755	14.2	0.0	99.3	9.0	0.9	17.2	0.28
無処理	429	10.2	1.5	0.0	5.8	0.1	17.3	0.38

注1) 満開15日前にストロブトマイシン200ppm散布、満開期および満開10日後または20日後ジベレリン25ppm、花(果)房浸漬

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

果樹推奨品種決定と生態収量予測 (ブドウ第9回系統適応性検定試験)・平成11  
～15年度・果樹研究室